

平成22年度

「基礎学力調査」

－ 結果の概要 －

平成22年7月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3
II 調査結果	4
1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《中学校第3学年 社会》	12
《中学校第3学年 理科》	14
《中学校第3学年 英語》	16
2 質問紙調査結果	18
《小学校第4学年》	18
《小学校第6学年》	22
《中学校第3学年》	24
《小学校教員》	26
《中学校教員》	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力（知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等）の定着状況，及び学習・生活状況について把握・分析し，学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて，教員の指導状況等を把握し，指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし，調査の集計・分析については，各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	225校	225校	94校
実施児童生徒数	10,877人	11,061人	10,381人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	5,498人	5,532人	2,835人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 校 数	77校	33校
実 施 教 員 数	1,203人	694人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成22年4月19日(月)

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語(45分)	社会(40分)	社会(45分)
	2限	算数(40分)	理科(40分)	理科(45分)
	3限			英語(45分)
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

[本書における留意事項]

到達状況について

正答率の状況により，児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%を上回っている場合	◎：良好である
80%～90%の場合	○：概ね良好である
70%～80%の場合	◇：基準に到達している
60%～70%の場合	▽：十分とはいえない
60%を下回っている場合	▼：不十分である

※正答率とは，全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く，概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

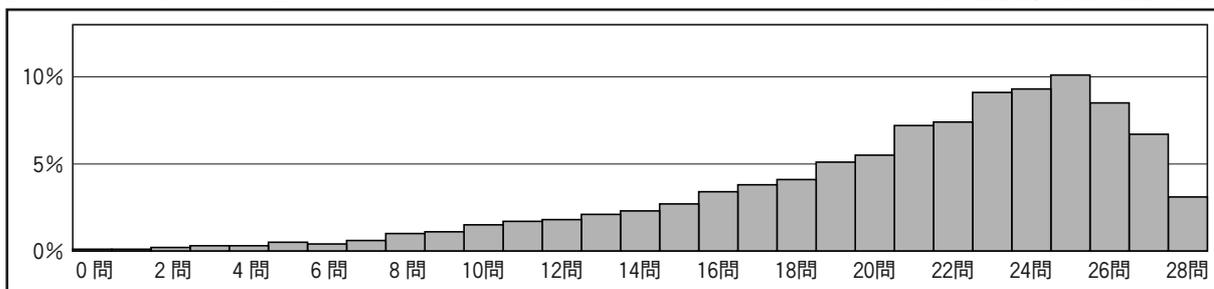
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

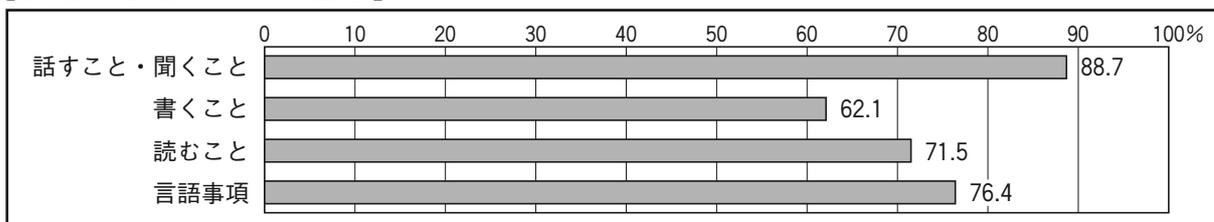
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,493人	74.0%	20.7問 / 28問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	－ 2② 内容の聞き取り(二つ目の意見の理由)	96.7
2	－ 2① 内容の聞き取り(一つ目の意見の理由)	96.5
3	－ 3 話し合いの進行・結果	91.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	七4表記 段落の続き方に注意して書く句読点を正しく使用して書く	31.2
2	七2 書こうとするものの中心を明確にする	47.0
3	二5 説明的文章の内容理解(二つ目の実験のまとめ)	58.6

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【話すこと・聞くこと】 ◎：大事なことを落とさずに聞くこと〔一2〕</p> <p>【書くこと】 ▼：段落の改行や、句読点の正しい使い方〔七4表記〕 ▼：中心を明確にして書くこと〔七2〕</p> <p>【読むこと】 ◇：目的に応じて、細かい点に注意しながら読むこと〔二4〕 ▽：段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと〔二3〕 ▼：目的に応じて、内容を大きくまとめること〔二5〕</p> <p>【言語事項】 ○：毛筆・筆使いの理解〔六〕 ▽：「主語」と「述語」の関係の理解、筆順の理解〔四、五〕</p>
--

[]内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

- 段落相互の関係に注意しながら、相手や目的に応じて、自分の考えが伝わるように書く活動を充実させること
- 段落相互の関係をとらえて、目的に応じた要点の抜き出し・文章の要約などの活動を充実させること

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

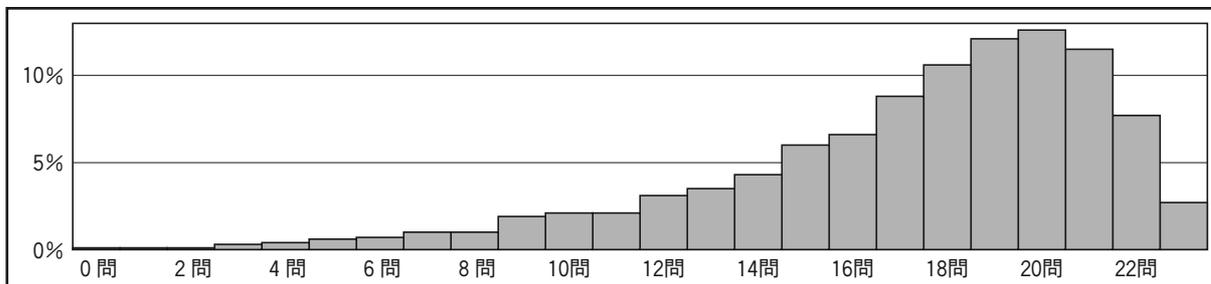
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合(%)				
			国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	正答率	誤		無 解答	
									正答	準正答		答
一	話すこと 聞くこと	1	内容の聞き取り(話し合いの話題)	○	○			69.6	60.0	9.6	29.8	0.5
		2①	内容の聞き取り(一つ目の意見の理由)		○			96.5	77.7	18.8	2.6	0.9
		2②	内容の聞き取り(二つ目の意見の理由)		○			96.7	22.5	74.2	2.4	0.9
		3	話し合いの進行・結果	○	○			91.9	91.9	0.0	7.8	0.3
二	言語事項	1	修飾・被修飾の関係				○	75.7	75.7	0.0	23.0	1.3
		2	国語辞典の使い方(語尾を直す)				○	85.4	85.4	0.0	12.6	2.0
	読むこと	3	段落相互の関係(問いかけの段落)				○	61.7	61.7	0.0	36.0	2.4
		4(1)	説明的文章の内容理解(調べる目的)				○	61.8	41.0	20.8	29.6	8.6
		4(2)	説明的文章の内容理解(実験の方法)				○	88.7	64.1	24.6	6.3	5.0
		4(3)	説明的文章の内容理解(実験の結果)				○	79.8	36.7	43.1	13.5	6.7
		4(4)	説明的文章の内容理解(実験の結果)				○	78.7	38.1	40.6	13.8	7.5
		5	説明的文章の内容理解(二つ目の実験のまとめ)				○	58.6	30.1	28.5	33.9	7.5
三	言語事項	①	漢字の書き取り(病院)				○	80.3	80.3	0.0	17.5	2.1
		②	漢字の書き取り(集まる)				○	80.5	80.5	0.0	17.5	2.0
		③	漢字の書き取り(旅行)				○	74.8	74.8	0.0	21.4	3.8
		④	漢字の読み(屋上)				○	74.0	74.0	0.0	20.0	5.9
		⑤	漢字の読み(等しい)				○	91.5	91.5	0.0	6.1	2.4
		⑥	漢字の読み(新緑)				○	74.1	74.1	0.0	19.1	6.8
四	言語事項	主語(先生が) 述語(話しかけました)				○	67.2	60.2	7.1	29.7	3.0	
五	言語事項	①	筆順(長)				○	62.5	62.5	0.0	37.0	0.4
		②	筆順(田)				○	61.5	61.5	0.0	38.1	0.4
六	言語事項	毛筆・筆使いの理解(「はね」)				○	88.9	88.9	0.0	10.5	0.5	
七	書くこと	1	書く必要のある事柄を選択して書く	○	○			70.7	52.4	18.4	22.5	6.7
		2	書こうとすることの中心を明確にする	○	○			47.0	37.4	9.6	42.1	10.9
		3	文章の間違いを正す			○	○	81.1	80.3	0.8	11.3	7.6
		4条件	相手や目的に応じて適切に書く			○		80.8	74.6	6.2	9.0	10.3
		4内容	相手や目的に応じて明確に書く	○	○			61.8	44.7	17.1	27.9	10.3
		4表記	段落の続き方に注意して書く 句読点を正しく使用して書く			○	○	31.2	14.5	16.6	58.6	10.3

《小学校第4学年 算数》

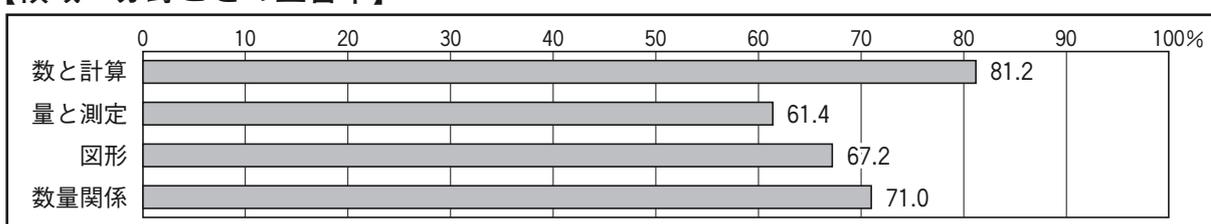
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,498人	74.9%	17.2問 / 23問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1) 繰り上がりのない加法計算	96.9
2	2(3) 乗法九九の理解	94.2
3	1(4) 余りのある除法計算	89.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(2) 身近なかさの量感覚	36.8
2	10(2) 2つの棒グラフを比較しての読み取り	43.9
3	9 減法の計算の工夫	51.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：基本的な四則計算ができること〔1〕 ○：数や乗法九九について理解すること〔2〕 ▼：減法の計算の工夫を読み取り、用いること〔9〕
<p>【量と測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：時計の時刻から一定時間前の時刻を求めること〔3(1)〕 ▼：身近なもののかさに関心を持ち、量感を伴って理解すること〔3(2)〕
<p>【図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：箱の形を構成する面の位置関係について考えること〔8(2)〕 ▼：球の直径について理解すること、円の半径を使って二等辺三角形を作図すること〔4〕
<p>【数量関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：二次元表から、特定項目の人数を求めることや、求め方を説明すること〔6〕 ▼：棒グラフから項目間の関係を読み取り、説明すること〔10(2)〕

()内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

<input type="checkbox"/> 実感を持った活動を通して、数量や図形についての感覚を豊かにする指導を充実させること
<input type="checkbox"/> 言葉、数、式、図、グラフ等を用いて、理由や根拠を明確にしながら筋道立てて説明する活動を重視すること

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

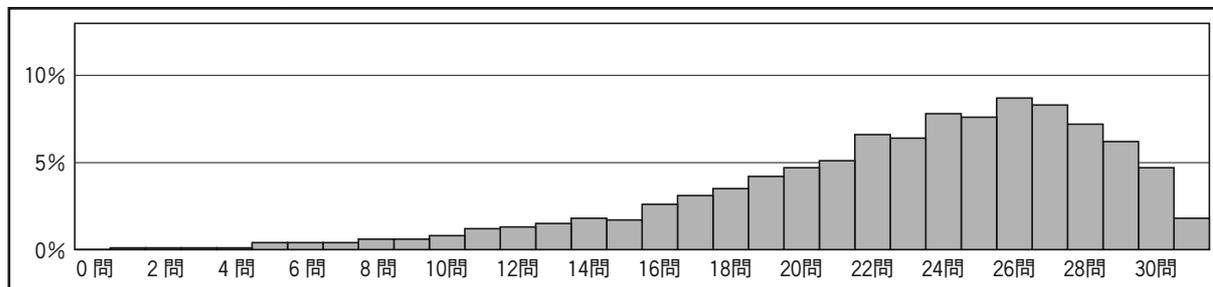
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合(%)						
			算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 表現・処理	知識・理解	数量や図形についての	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	数と計算	(1)	繰り上がりのない加法計算			○	96.9	96.8	0.0	3.1	0.1	
		(2)	波及的繰り下がりのある減法計算			○	87.7	87.6	0.1	12.1	0.3	
		(3)	2位数×2位数(何十)の計算			○	85.0	84.9	0.1	14.4	0.6	
		(4)	余りのある除法計算			○	89.1	89.1	0.1	10.2	0.7	
2	数と計算	(1)	数の相対的大きさ			○	81.6	81.6	0.0	17.1	1.3	
		(2)	数の系列(数直線表示)			○	87.7	87.2	0.4	11.8	0.5	
		(3)	乗法九九の理解	○		○	94.2	94.2	0.0	5.3	0.4	
		(4)式	除法の適用される場面			○	86.4	77.9	8.5	12.5	1.1	
		(4)答	題意に即した余りの適切な処理		○	○	74.8	74.6	0.2	23.6	1.6	
3	量と測定	(1)	一定時間前の時刻			○	○	81.8	81.6	0.2	17.1	1.1
		(2)	身近なかさの量感覚	○		○	36.8	36.8	0.1	61.7	1.4	
		(3)	情報の取り出しと道のりの計算		○	○	65.6	64.9	0.7	32.6	1.8	
4	図形	(1)	球の直径の理解		○	○	67.1	67.1	0.1	30.9	1.9	
		(2)	円の半径を使った二等辺三角形の作図		○	○	62.6	61.7	0.9	34.2	3.2	
5	数と計算	情報の取り出しと計算の読み取り	○	○		69.8	50.2	19.6	26.1	4.1		
6	数量関係	(1)	二次元表の読み方(特定項目の人数)	○		○	87.6	87.5	0.1	11.5	0.9	
		(2)	二次元表の読み方(人数の求め方)		○	○	81.6	60.3	21.4	11.8	6.5	
7	数と計算	除法を適用する問題づくり		○	○	67.8	60.1	7.6	30.0	2.3		
8	図形	(1)	箱の形を構成する辺の数			○	62.6	51.3	11.3	35.6	1.7	
		(2)	箱の形を構成する面の位置	○	○		76.7	76.5	0.1	21.2	2.1	
9	数と計算	減法の計算の工夫		○	○	51.1	44.5	6.6	41.2	7.8		
10	数と計算	加法と減法の相互関係	○		○	83.4	83.3	0.0	13.4	3.2		
	数量関係	2つの棒グラフを比較しての読み取り	○	○		43.9	36.1	7.7	48.9	7.2		

《小学校第6学年 社会》

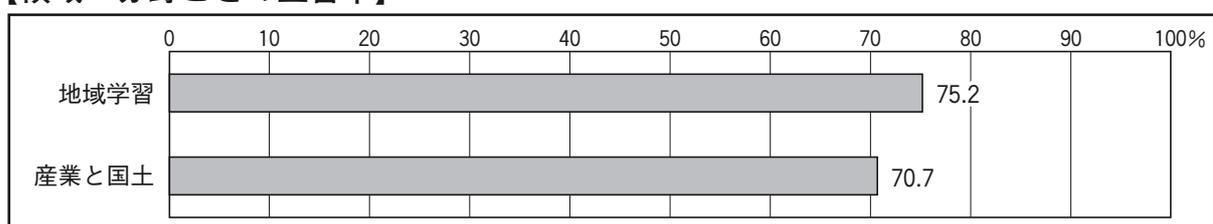
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,522人	73.2%	22.7問 / 31問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5(2)② 地図記号(学校)	94.3
2	2(1)① 日本の島の名称	92.4
3	3(2) 食の安全性	90.4

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(3)② 農業の後継者問題	34.3
2	1(5) 石川県の町の数	38.0
3	6(1) 自動車工場と関連工場の仕事	50.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ：地図の基礎的な要素である主な地図記号や八方位を理解すること [5(1)(2)]
- ：グラフを読み取り, 節水の工夫を考えること [4(2)(3)]
- ▽：等高線の意味を理解すること [5(3)]
- ▼：地図帳を活用し, 石川県の地理的概要について理解すること [1(2)(4)(5)]

【産業と国土】

- ◎：食の安全性について, 資料から読み取ること [3(2)]
- ▽：世界の主な大陸や海洋と, 我が国の国土との位置関係を理解すること [2(1)③, 2(2)]
- ▼：資料をもとに, 日本の農業の問題について自分の考えをまとめること [3(3)②]

[] 内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

- 各種の資料を活用し, 自分の考えをまとめ表現する活動を充実させること
- 地図帳を活用し, 地理的概要についての理解を図ること

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

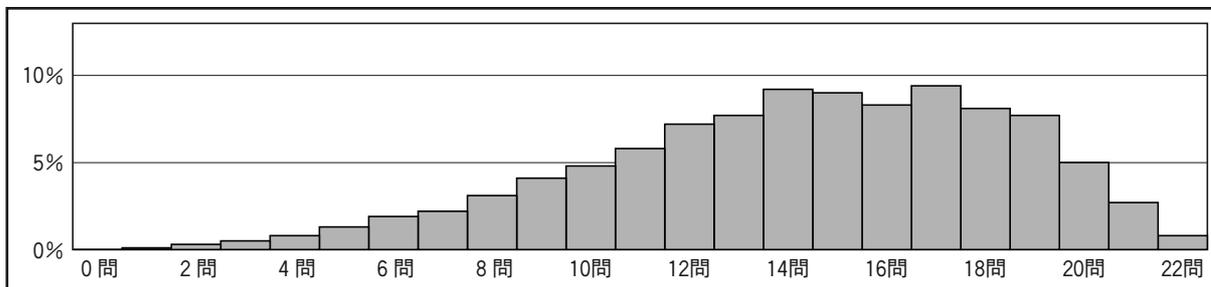
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合(%)				
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 な思考・判断	技能・ 表現	観察・ 資料活用 の	知識・ 理解	正 答 率	誤		無 解 答	
									正答	準正答		答
1	地域学習	(1)①	隣接した都道府県名			○	○	77.2	74.8	2.4	21.2	1.6
		(1)②	石川県の都市名			○	○	87.8	87.5	0.3	9.4	2.8
		(1)③	隣接した都道府県名			○	○	88.7	86.3	2.4	9.4	1.9
		(1)④	交通網			○	○	61.2	60.9	0.3	35.3	3.5
		(2)	石川県の地形の位置関係			○		63.5	63.5	0.0	33.7	2.8
		(3)	縮尺と実際の距離	○		○		70.5	70.4	0.0	25.2	4.3
		(4)	石川県の市町の位置の検索	○		○		61.1	60.9	0.2	31.0	7.9
		(5)	石川県の町の数				○	38.0	37.1	0.9	60.8	1.1
2	産業と国土	(1)①	日本の島の名称				○	92.4	92.1	0.2	5.2	2.5
		(1)②	日本の領域			○		81.7	79.2	2.5	14.8	3.5
		(1)③	緯度と経度				○	59.3	54.9	4.4	30.1	10.6
		(2)④	日本の位置関係 (海洋)			○		60.8	60.7	0.1	37.7	1.5
		(2)⑤	日本の位置関係 (大陸)			○		67.0	67.0	0.0	30.9	2.2
		(2)⑥	日本と関係が深い国			○		66.1	66.1	0.0	31.3	2.6
3	産業と国土	(1)	食糧自給率に関する資料選択		○	○		68.4	68.4	0.0	30.4	1.1
		(2)	食の安全性		○			90.4	90.4	0.0	8.6	1.0
		(3)①	農業で働く人の変化			○		69.5	68.1	1.4	27.3	3.2
		(3)②	農業の後継者問題	○	○			34.3	21.2	13.1	55.1	10.5
4	地域学習	(1)	浄水場の働き				○	80.4	80.4	0.1	18.2	1.3
		(2)	1人あたりの水の使用量の変化		○	○		84.7	84.7	0.0	12.8	2.5
		(3)	日常生活でできる節水の工夫	○	○			84.8	46.8	38.0	7.2	8.0
5	地域学習	(1)	八方位				○	83.4	83.4	0.0	12.4	4.2
		(2)①	(工場)				○	86.3	86.3	0.0	10.8	2.9
		(2)②	(学校)				○	94.3	94.2	0.1	3.3	2.4
		(2)③	(田)				○	76.7	75.7	1.0	21.0	2.4
		(2)④	(警察)				○	78.7	78.7	0.0	18.5	2.8
		(3)	等高線の意味				○	60.4	60.4	0.0	35.4	4.1
6	産業と国土	(1)	自動車工場と関連工場の仕事		○			50.1	50.1	0.0	44.7	5.2
		(2)①	(環境)		○			89.8	89.8	0.0	4.5	5.7
		(2)②	自動車会社の工夫や努力 (安全)		○			80.4	80.4	0.0	13.9	5.7
		(2)③	(福祉)		○			80.0	80.0	0.0	14.3	5.8

《小学校第6学年 理科》

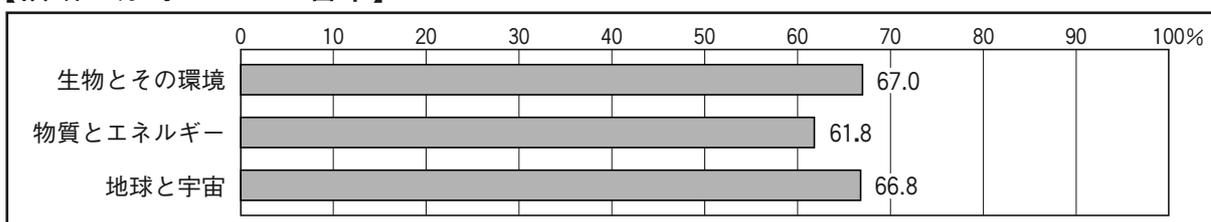
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,523人	64.6%	14.2問 / 22問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5(3) メダカの卵の変化	92.6
2	6(2) ろ過に必要な器具	86.7
3	7(2) 東の空にある満月の動き	85.2

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(1) 正確なデータを得るための実験方法	30.2
2	5(1) メダカの雌雄の形状の違い	43.6
3	4(3) 降雨と川の増水	46.9

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【生物とその環境】

- ◎：メダカの卵の変化について理解すること〔5(3)〕
- ▼：昆虫の体のつくりについて理解すること〔1(3)〕
- ▼：モンシロチョウの卵の大きさやメダカの雌雄の違いについて理解すること〔1(1), 5(1)〕

【物質とエネルギー】

- ：ろ過に必要な器具を選択すること〔6(2)〕
- ◇：水に物が溶けても全体の質量は変わらないことについて理解すること〔6(1)〕
- ▼：正確なデータを得るための実験の技能を身に付けること〔3(1)〕
- ▼：閉じ込められた空気と水の体積変化について理解すること〔2(1)〕

【地球と宇宙】

- ◇：上流と下流の石の大きさや形の違いについて理解すること〔4(1)〕
- ▼：降雨と川の増水について関係付けて考えること〔4(3)〕

[] 内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

- 学んだことと日常生活とを関連付けた学習活動を重視し、実感を伴った理解を図ること
- 問題解決のための実験方法を考えたり、説明したりする学習活動を充実させること
- 観察、実験などの具体的な体験を通して、科学的な見方、考え方を深める指導を充実させること

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

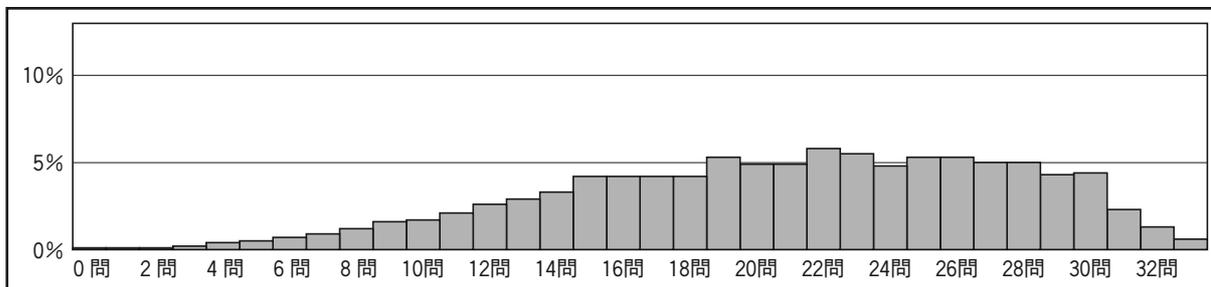
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)					
			関心・ 意欲・ 態度	自然事象への 科学的な思考	技能・ 表現	観察・ 実験の 知識・ 理解	自然事象についての	正 答 率	割 合 (%)		誤 答	無 解 答
									正答	準正答		
1	生物と その環境	モンシロチョウの卵の大きさ	○			○	59.6	59.6	0.0	40.4	0.0	
		モンシロチョウのさなぎの特徴	○			○	66.2	59.5	6.7	32.3	1.5	
		昆虫の体のつくり				○	64.5	64.5	0.0	34.5	1.0	
2	物質と エネルギー	閉じ込めた空気と水の体積変化		○	○		48.3	48.3	0.0	30.6	21.1	
		空気が押し返す力		○			72.7	72.7	0.0	27.2	0.1	
		空気の性質を利用した身の回りの事象	○	○			58.4	58.3	0.0	41.5	0.1	
3	物質と エネルギー	正確なデータを得るための実験方法	○		○		30.2	24.6	5.6	65.9	3.9	
		ふりこの周期を変化させる条件		○		○	52.0	51.9	0.1	44.4	3.6	
4	地球と宇宙	上流と下流の石の大きさや形の違い				○	72.9	72.9	0.0	26.8	0.2	
		上流と下流の堆積作用				○	60.4	60.4	0.0	39.0	0.6	
		降雨と川の増水		○			46.9	46.8	0.2	45.8	7.3	
5	生物と その環境	メダカの雌雄の形状の違い				○	43.6	41.6	2.0	53.8	2.6	
		解剖顕微鏡の使い方				○	75.8	53.4	22.4	22.7	1.4	
		メダカの卵の変化				○	92.6	92.6	0.0	7.3	0.1	
6	物質と エネルギー	食塩を溶かしたときの水溶液の全体の質量の変化				○	73.8	73.8	0.0	25.5	0.7	
		ろ過に必要な器具			○		86.7	86.7	0.0	13.1	0.2	
		溶けている食塩を取り出す方法		○			51.4	51.4	0.0	45.7	2.9	
7	地球と宇宙	西の空にある半月の動き				○	58.3	58.3	0.0	41.3	0.4	
		東の空にある満月の動き				○	85.2	85.2	0.0	4.2	10.6	
		観測結果からの月の動き		○			77.3	77.3	0.0	22.4	0.3	
8	物質と エネルギー	電磁石の強さと電流の大きさ		○			59.8	59.8	0.0	39.7	0.5	
		電磁石の強さとコイルの巻き数		○			84.8	84.6	0.1	13.6	1.6	

《中学校第3学年 社会》

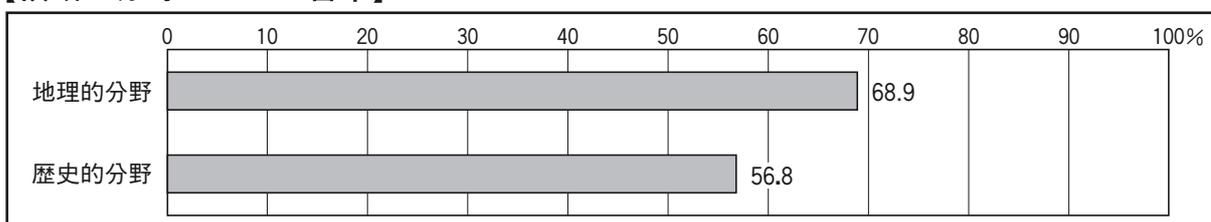
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,836人	63.0%	20.8問 / 33問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	4(2) 資料から人物を選択(足利義満)	91.7
2	1(1)A 六大陸	87.3
3	3(2) 地形図の読み取り	86.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(4) 歴史的事象の説明(大化の改新)	31.8
2	2(2) 飛鳥時代のようす	32.7
3	3(4)② 山梨県の農業の特色	37.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ：地形図からの地域の特色を読み取ること〔3(2)〕
- ：主題図を適切に読み取ること〔5(2)〕
- ▼：複数の資料から読み取ったことを関連付けて表現すること〔3(4)②, 5(3)〕

【歴史的分野】

- ◎：資料を活用し、歴史上の人物と歴史的事象を関連付けて理解すること〔4(2)〕
- ▽：時代区分について理解すること〔4(1)〕
- ▼：歴史的事象の意味・意義について説明すること〔2(4)〕
- ▼：時代の特色をとらえること〔2(2), 4(4)⑤〕

[] 内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

- 複数の資料から読み取ったことを関連付けて、自分の考えをまとめる力を育成すること
- 歴史的事象の意味・意義について説明する学習を充実させること
- その時代を大観し、表現する活動を通して、各時代の特色をとらえさせること

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

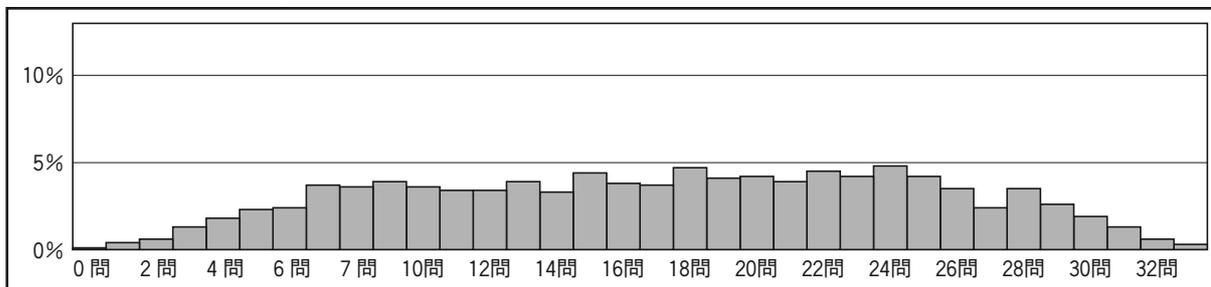
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)					
			社会的 事象への 関心・ 意欲・ 態度	社会的 な思考・ 判断	資料 活用 の技能・ 表現	社会的 事象に ついての 知識・ 理解	正 答 率	誤		無 解 答		
								正答	準正答		答	
1	地理的分野	(1)A				○	87.3	87.3	0.0	11.6	1.1	
		(1)B				○	83.5	83.5	0.0	14.3	2.2	
		(2)				○	69.8	69.8	0.0	29.4	0.8	
		(3)			○		56.1	56.1	0.0	42.4	1.5	
		(4)			○		81.6	81.6	0.0	17.6	0.9	
		(5)			○		81.2	81.2	0.0	14.5	4.3	
		(6)			○		77.3	77.3	0.0	20.8	1.9	
2	歴史的分野	(1)				○	49.2	49.2	0.0	46.2	4.6	
		(2)				○	32.7	32.7	0.0	66.7	0.7	
		(3)				○	65.1	65.1	0.0	34.6	0.3	
		(4)			○	○	31.8	26.1	5.7	28.4	39.8	
		(5)				○	76.9	76.9	0.0	15.2	8.0	
		(6)		○	○		49.8	35.4	14.3	31.4	18.9	
3	地理的分野	(1)				○	49.2	49.2	0.0	34.2	16.6	
		(2)			○		86.9	86.9	0.0	12.4	0.7	
		(3)			○		67.2	67.2	0.0	32.1	0.7	
		(4)①		○	○		45.3	45.3	0.0	53.1	1.5	
		(4)②	○	○			37.3	36.9	0.4	45.8	16.9	
		(5)位置				○	78.7	78.7	0.0	20.1	1.2	
		(5)名称				○	51.4	51.4	0.0	30.6	17.9	
4	歴史的分野	(1)				○	67.5	67.5	0.0	31.9	0.6	
		(2)			○		91.7	91.7	0.0	7.6	0.6	
		(3)				○	63.1	63.1	0.0	20.3	16.6	
		(4)				○	43.4	43.4	0.0	54.4	2.2	
		(5)	○	○			43.2	10.9	32.3	33.6	23.2	
5	地理的分野	(1)			○	○	83.7	83.7	0.0	15.7	0.6	
		(2)				○		84.0	84.0	0.0	15.1	1.0
		(3)		○	○		50.8	19.6	31.2	34.1	15.0	
6	歴史的分野	(1)				○	62.2	62.2	0.0	37.2	0.7	
		(2)			○	○	70.2	70.2	0.0	28.9	0.8	
		(3)	○		○		43.9	23.3	20.7	36.8	19.3	
		(4)				○	44.7	44.7	0.0	54.1	1.2	
		(5)				○	73.1	73.1	0.0	6.8	20.1	

《中学校第3学年 理科》

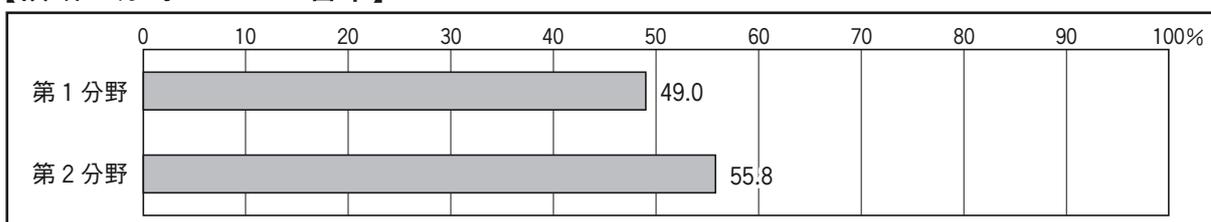
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,835人	52.3%	17.2問 / 33問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(1)① 物体に働く重力	80.7
2	2(3) 双子葉類の葉脈	78.0
3	7(2) 火山活動と凝灰岩の関係	77.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(2) 圧力の計算	18.6
2	9(1) 金属の酸化の実験方法	19.0
3	7(1) 堆積岩	21.2

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【第1分野】

- ：物体の置き方が違っていても重さは変化しないことについて理解すること [3(1)①]
- ◇：音の高低による波形の違いについて理解すること [1(2)]
- ▼：物体の質量から、面に加わる圧力の大きさを求めること [3(2)]
- ▼：化学変化の実験データを処理し、考察した内容をまとめ表現すること [9]
- ▼：回路の抵抗、電流の大きさを求めること [8(2)(4)]

【第2分野】

- ◇：双子葉類の特徴を理解すること [2(3)]
- ▼：等圧線から気圧を推定すること [4(1)]
- ▼：だ液の働きを調べる実験における対照実験の意図について理解すること [5(2)]
- ▼：地層を構成する岩石について理解すること [7]

[] 内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

- 観察、実験の目的を明確にし、適切な条件設定や操作の意図を考える指導を充実させること
- 身の回りの事象から問題を見だし、日常生活と関連付けて考察し、科学的に探究する学習活動を重視すること
- データを図、表、グラフ、モデル、式などの多様な形式で表す活動を重視すること

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

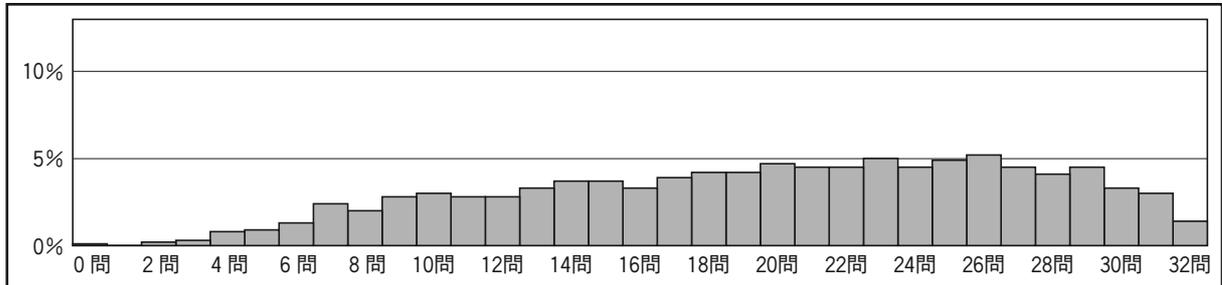
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合(%)				
			自然現象への 関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	知識・理解	自然現象についての	正 答 率	割 合 (%)		誤 答	無 解 答
									正答	準正答		
1	(1) 第2分野	地震波				○	51.1	45.2	6.0	37.7	11.1	
	(2)	第1分野	音の波形				○	70.8	70.8	0.0	28.8	0.5
	(3)①		水の電気分解の実験結果				○	61.7	61.6	0.1	33.1	5.3
	(3)②		水の電気分解の実験方法			○	○	66.5	56.3	10.2	17.3	16.2
	(4) 第2分野	動物の呼吸		○	○		57.7	57.7	0.0	41.4	0.8	
2	(1)	第2分野	双子葉類の特徴	○	○			58.2	58.2	0.0	41.0	0.7
	(2)		葉・茎・根のつくり				○	72.6	72.3	0.3	20.2	7.2
	(3)		双子葉類の葉脈	○			○	78.0	78.0	0.0	21.2	0.8
3	(1)①	第1分野	物体に働く重力				○	80.7	80.7	0.0	17.6	1.7
	(1)②		面積と圧力との関係		○			72.3	72.3	0.0	26.1	1.6
	(2)		圧力の計算			○		18.6	18.6	0.0	46.2	35.2
4	(1)	第2分野	等圧線の読み取り			○		61.1	61.0	0.1	38.3	0.7
	(2)		寒冷前線における空気の動き				○	51.9	51.9	0.0	47.2	1.0
	(3)		寒冷前線と雲	○	○			54.0	54.0	0.0	45.2	0.8
5	(1)	第2分野	実験の条件			○	○	75.7	74.2	1.5	13.7	10.7
	(2)		対照実験の必要性		○			38.4	38.0	0.5	46.7	14.9
	(3)		だ液のはたらき		○	○		55.8	55.8	0.0	43.4	0.9
	(4)		ベネジクト液の使用法			○		51.4	51.0	0.3	31.7	16.9
6	(1)	第1分野	水溶液と日常生活との関連	○			○	71.8	71.8	0.0	17.7	10.5
	(2)		酸性水溶液の確認方法		○	○		44.6	41.4	3.2	31.4	24.1
	(3)		中和と日常生活との関連	○	○			41.3	33.6	7.7	29.4	29.3
7	(1)	第2分野	堆積岩				○	21.2	21.1	0.0	57.9	21.0
	(2)		火山活動と凝灰岩の関係		○			77.9	63.9	14.0	10.4	11.7
	(3)		示相化石				○	39.5	37.8	1.6	55.1	5.5
	(4)		柱状図の読み取り		○			48.0	48.0	0.0	49.8	2.2
8	(1)	第1分野	電流による発熱の実験方法			○		42.1	41.5	0.6	38.2	19.7
	(2)		抵抗値の計算			○		58.7	58.7	0.0	25.7	15.6
	(3)		電力と電流の働き	○	○			62.2	62.2	0.0	34.7	3.1
	(4)		並列回路の電流		○			28.5	28.5	0.0	51.6	19.9
9	(1)	第1分野	金属の酸化の実験方法			○		19.0	18.9	0.1	64.4	16.6
	(2)		銅と化合する酸素との関係のグラフ			○		34.5	32.4	2.1	50.8	14.8
	(3)		銅の酸化の原子・分子モデル		○			26.3	26.3	0.0	67.6	6.1
	(4)		銅の酸化の化学反応式				○	33.1	32.7	0.4	50.4	16.4

《中学校第3学年 英語》

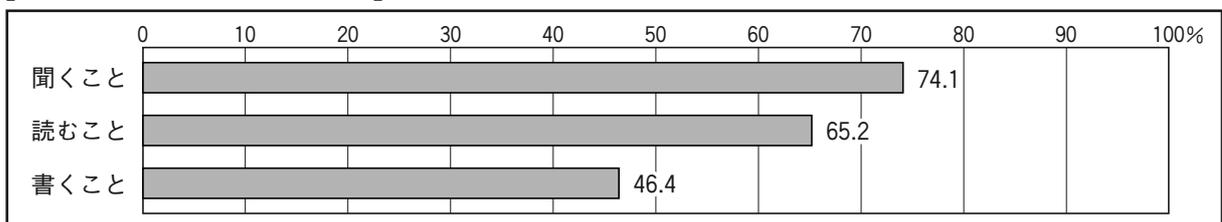
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,837人	61.5%	19.7問 / 32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1-No.1 絵の内容を表す英文の聞き取り	95.1
2	3-No.1 留学生紹介の文章の聞き取り	88.8
3	2-No.3 話しかけの内容に応じた適切な応答	88.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	10(1) 正しく伝わるように書くこと	22.5
2	10(2) 正しく伝わるように書くこと	23.0
3	11 自分の好きなこと・ものについての英文スピーチの作成	29.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【聞くこと】

- ：ポイントとなる語を正しく聞き分けることや、質問・依頼などを聞いて適切に応じること [1-No.1, 2-No.1・3・4, 3-No.1]
- ▼：まとまりのある英語を聞いて、内容を整理しながら要点を聞き取ること [3-No.2・3]

【読むこと】

- ◇：まとまりのある文章を読んで、大まかな流れや単語の意味を読み取ること [7, 8]
- ▼：まとまりのある文章を読んで、文と文のつながりや具体的な内容を読み取ること [9]

【書くこと】

- ▼：場面にふさわしい内容や伝えたい情報を正しい語順や語法で書くこと [6, 10]
- ▼：自分の考えや気持ちが伝わるように、まとまりのある文章を書くこと [11]

[] 内：設問番号



【指導改善のポイント】(重点的に指導すること)

- まとまりのある文章を聞く・読むなどの言語活動を通して、情報を整理しながらあらすじや大切な部分を理解させること
- 既習事項との対比、関連事項のまとめ等を工夫し、基本的な文法事項の定着を図ること
- 身に付けた表現を活用する場を工夫し、一貫した文章を書く力や書く意欲を高めること

【各設問の正答率等】

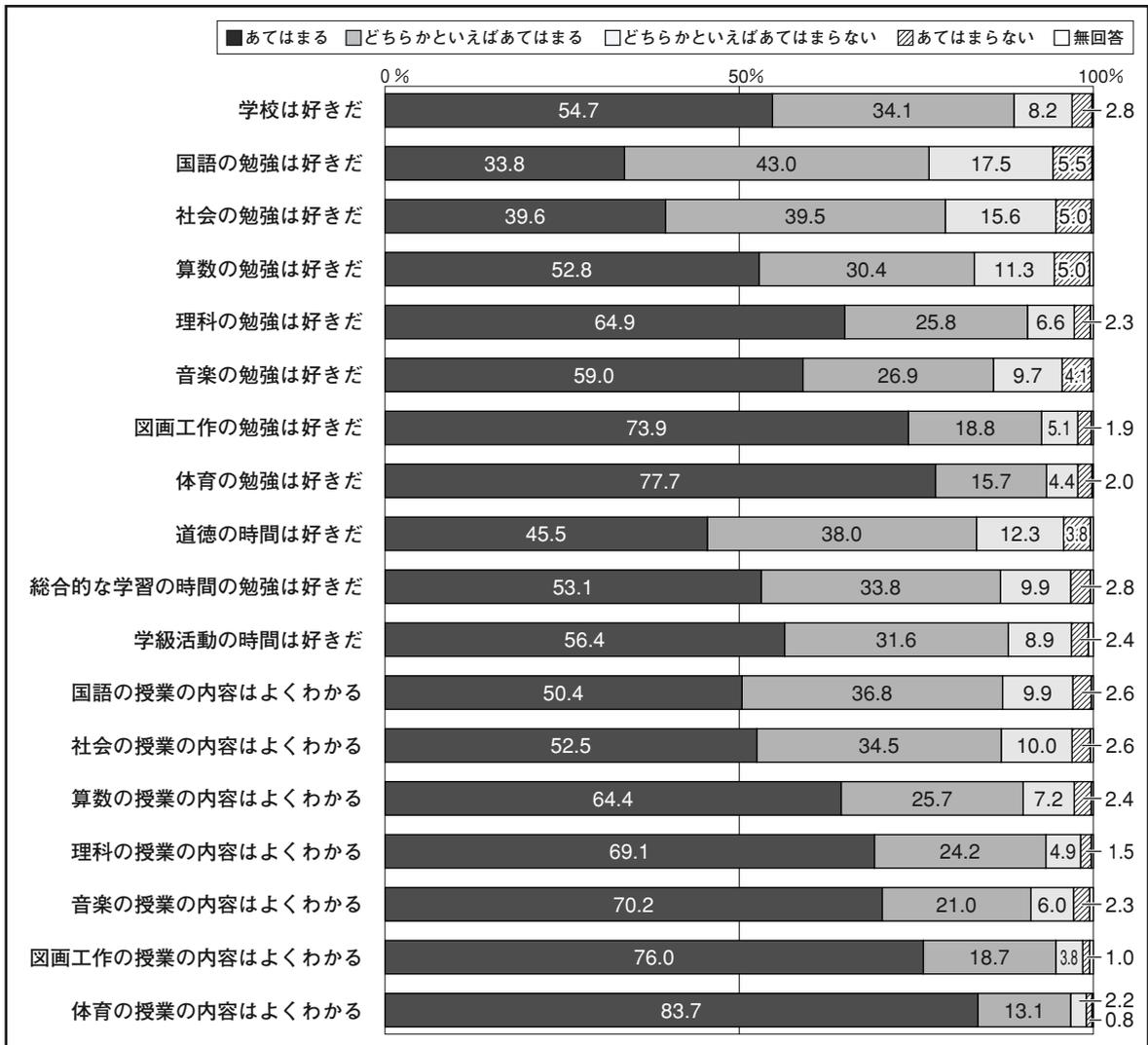
中学校第3学年（英語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合(%)					
			の 関心 ・ 意欲 ・ 態度	表 現 の 能 力	理 解 の 能 力	知 識 ・ 理 解	言 語 や 文 化 に つ い て の	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答
1	No 1	聞くこと 絵の内容を表す英文の聞き取り			○		95.1	95.0	0.1	4.3	0.6
	No 2				○		61.7	61.6	0.1	37.6	0.6
	No 3				○		56.4	56.4	0.0	42.8	0.8
2	No 1	聞くこと 話しかけの内容に応じた適切な応答			○		77.6	77.6	0.0	22.0	0.4
	No 2				○		67.6	67.6	0.0	31.9	0.5
	No 3				○		88.1	88.1	0.0	11.6	0.4
	No 4				○		81.3	81.3	0.0	18.0	0.7
3	No 1	聞くこと 留学生紹介の文章の聞き取り			○		88.8	88.8	0.1	9.7	1.5
	No 2				○		72.4	67.1	5.3	23.9	3.6
	No 3				○		51.7	51.5	0.3	42.2	6.0
4	(1)	読むこと			○	○	51.0	51.0	0.0	48.7	0.2
	(2)				○	○	75.6	75.6	0.0	24.0	0.4
	(3)				○	○	57.3	57.3	0.0	42.3	0.4
	(4)				○	○	60.1	60.1	0.0	39.1	0.8
	(5)				○	○	83.9	83.9	0.0	15.7	0.5
	(6)				○	○	55.6	55.6	0.0	43.7	0.7
5	(1)	書くこと			○	○	77.6	77.4	0.2	21.9	0.5
	(2)				○	○	66.3	66.1	0.2	33.0	0.8
	(3)				○	○	54.0	53.9	0.1	45.2	0.8
	(4)				○	○	78.8	78.5	0.2	20.3	1.0
	(5)				○	○	31.0	31.0	0.0	66.9	2.0
6	(1)	書くこと 場面にふさわしい内容を正しく書くこと	○	○			40.7	34.9	5.9	46.5	12.8
	(2)		○	○			48.4	39.6	8.8	17.1	34.5
7		読むこと 概要の読み取り			○		81.1	81.1	0.0	18.2	0.7
8		読むこと 文脈に合う単語の意味理解			○		78.4	78.4	0.0	20.7	0.8
9	(1)	読むこと			○		81.6	81.6	0.0	17.1	1.3
	(2)				○		60.3	60.3	0.0	37.8	1.8
	(3)				○		32.1	8.1	23.9	42.0	25.9
10	(1)	書くこと 正しく伝わるように書くこと	○	○			22.5	20.7	1.7	61.6	16.0
	(2)		○	○			23.0	20.5	2.4	51.4	25.6
	(3)		○	○			38.6	20.8	17.8	45.1	16.3
11		書くこと 自分の好きなこと・ものについての英文スピーチの作成	○	○			29.1	4.5	24.6	47.8	23.1

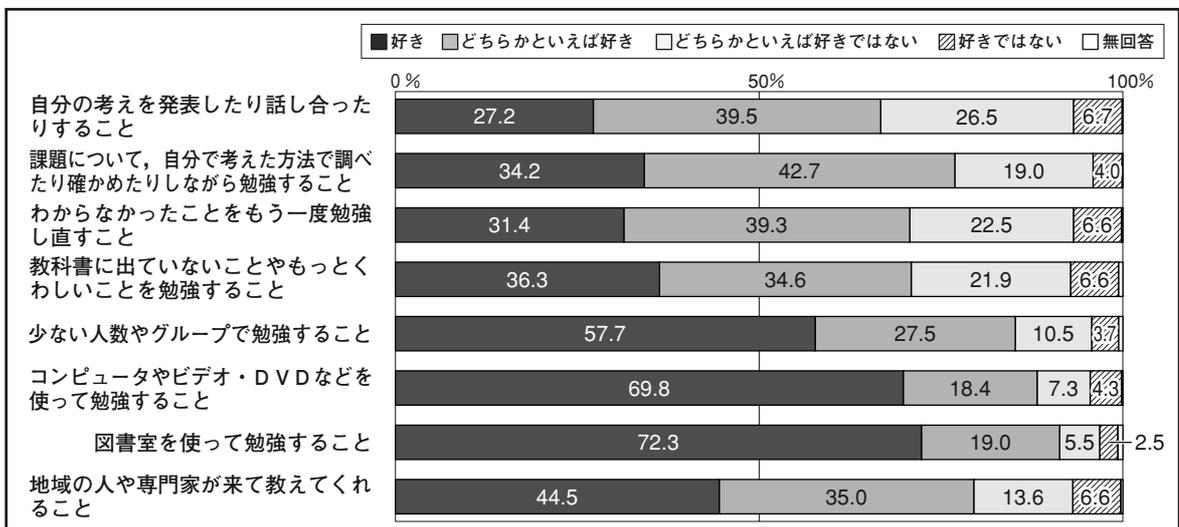
2 質問紙調査結果

《小学校第4学年》 学校数(児童数)：225校(5,498人)

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

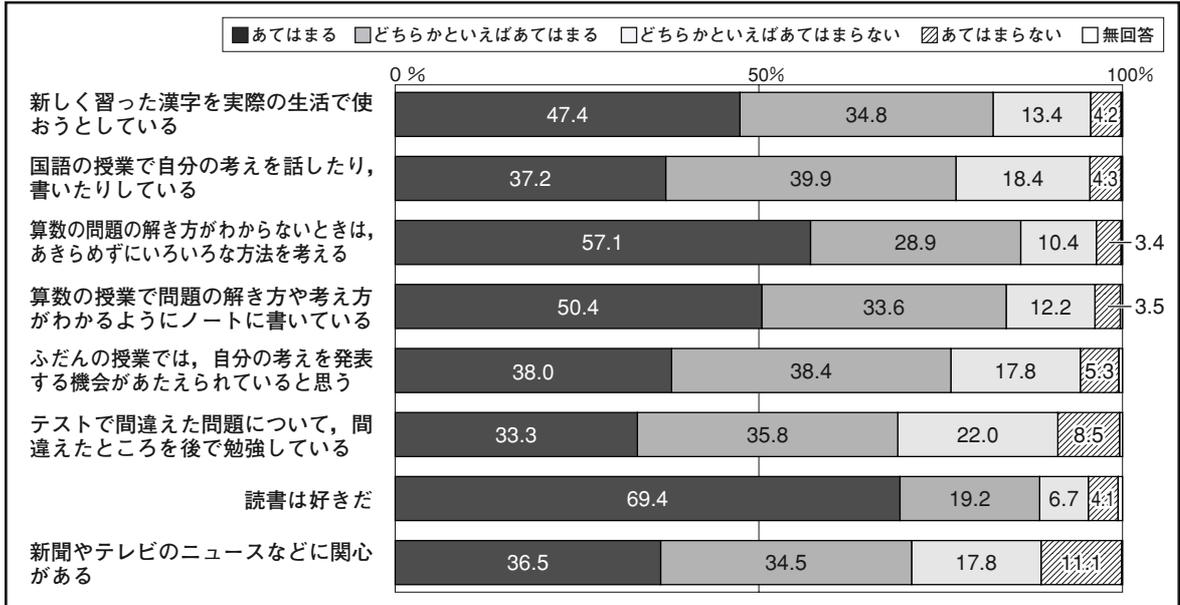


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

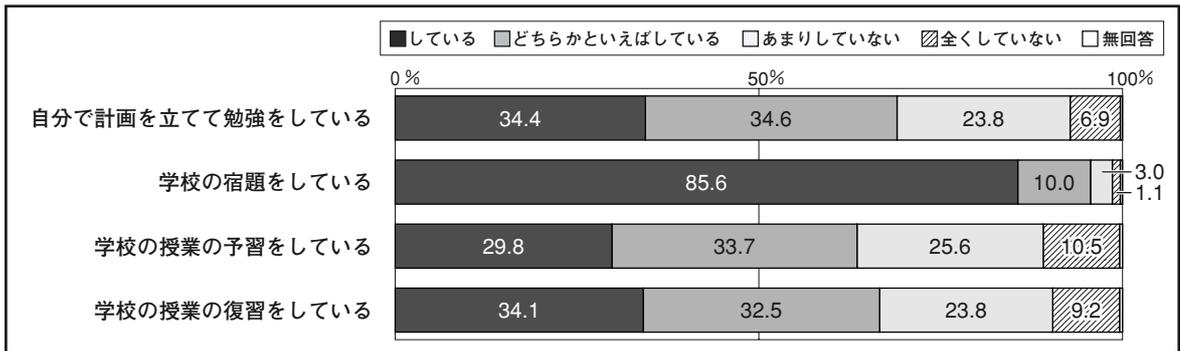


※質問紙調査結果（P18～29）については、無回答の割合（数値）は表記していない。

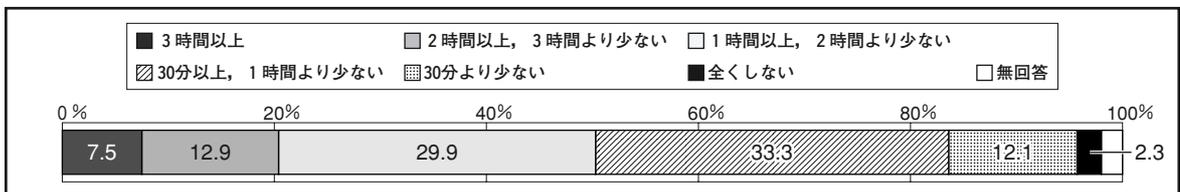
3 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。



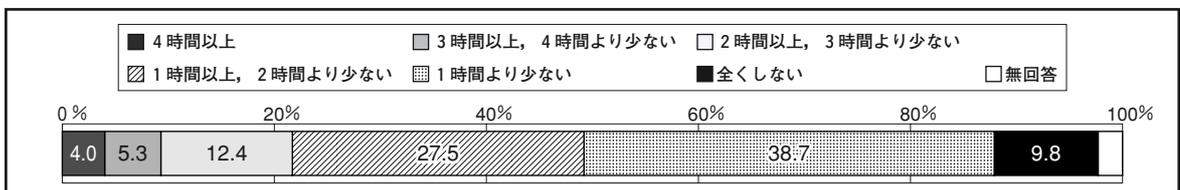
4 あなたは、家で次のようなことをしていますか。



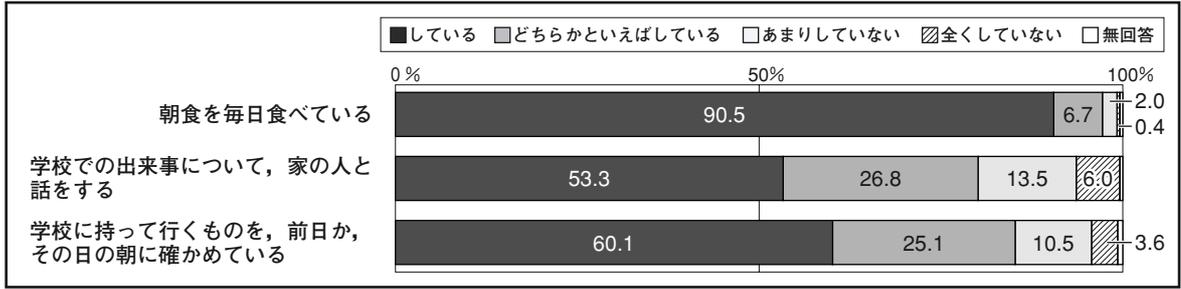
5 あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



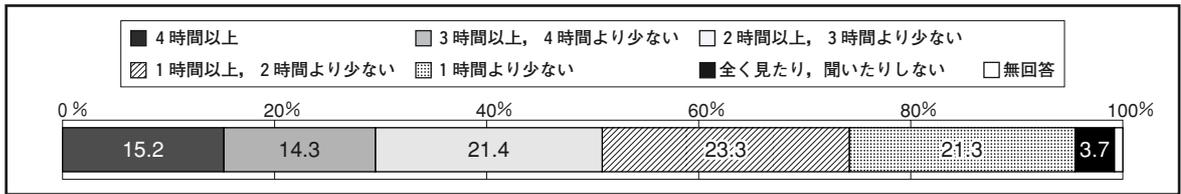
6 あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



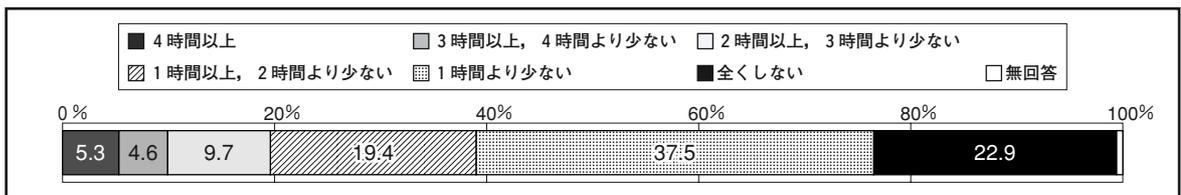
7 あなたは、生活の中で次のようなことをしていますか。



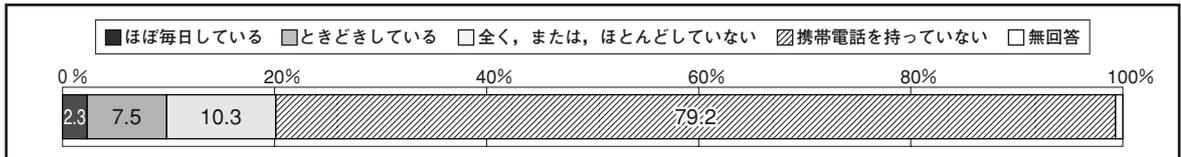
8 (1)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしますか。



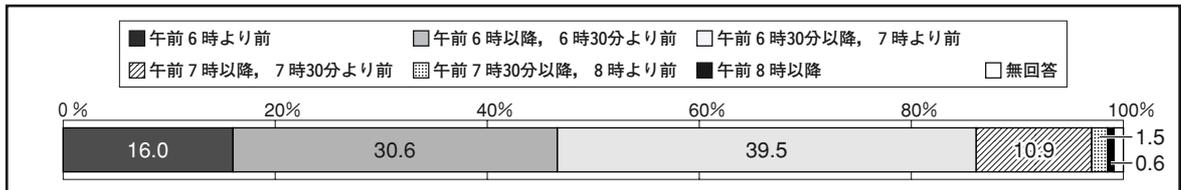
(2)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームをふくみます。）をしますか。



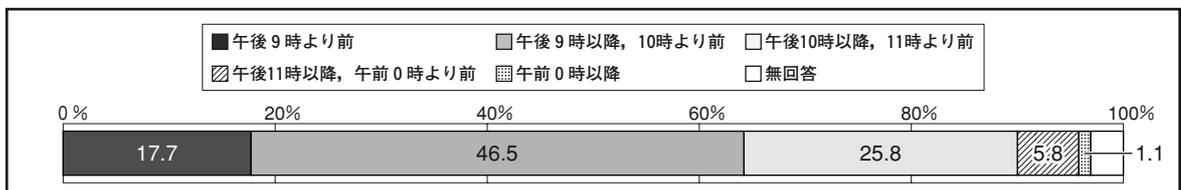
9 あなたは、携帯電話で通話やメールをしていますか。



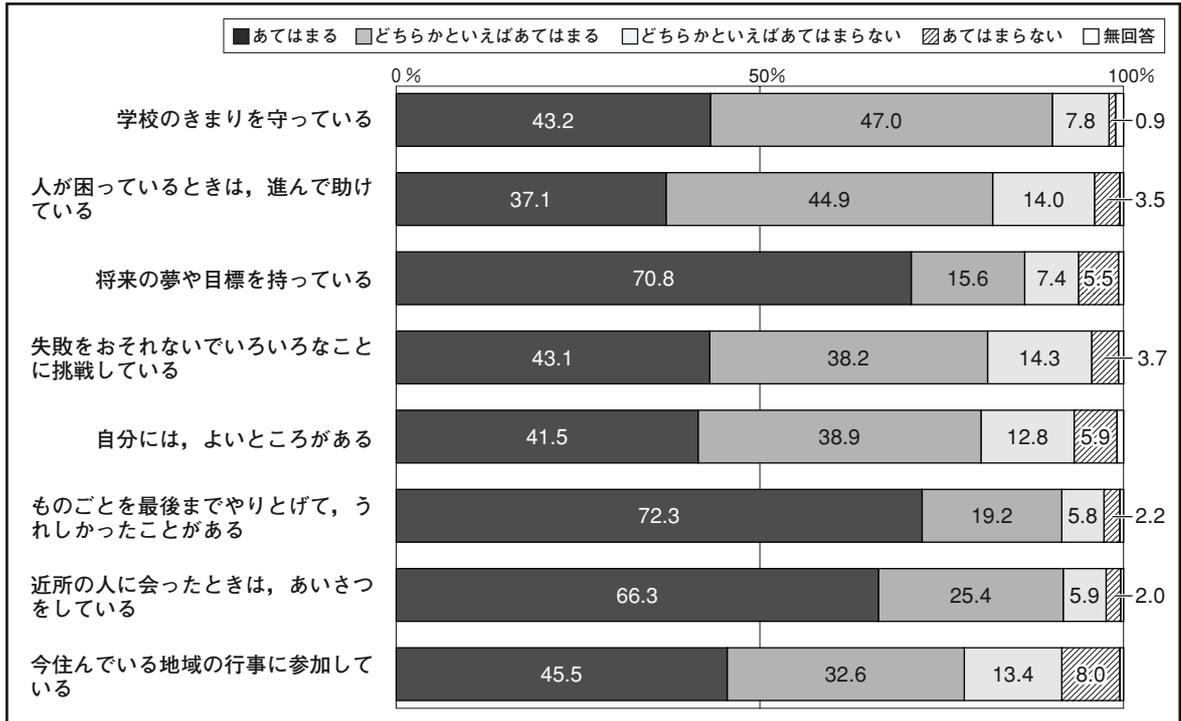
10 (1)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。



(2)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろにねますか。

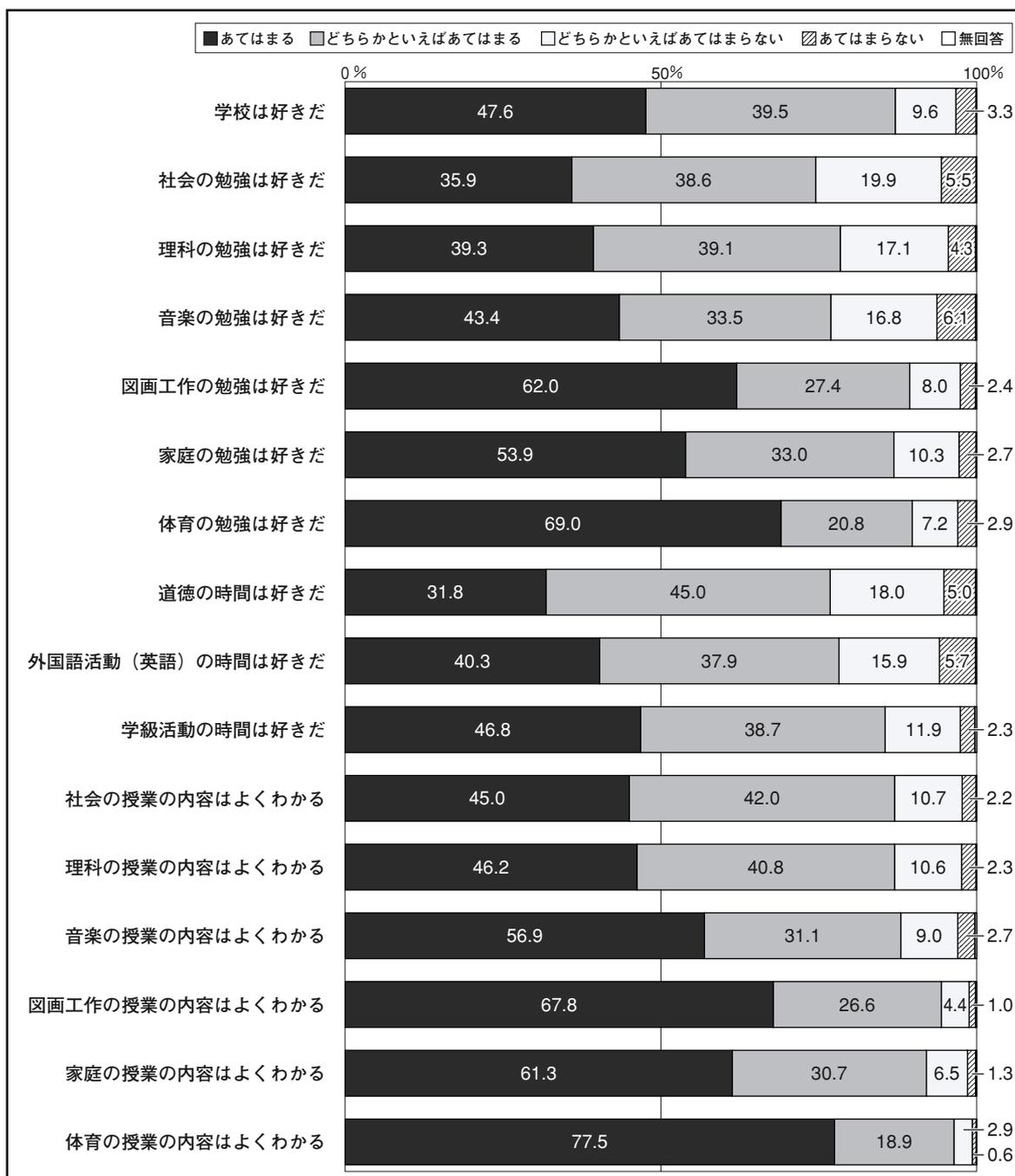


11 次のことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。

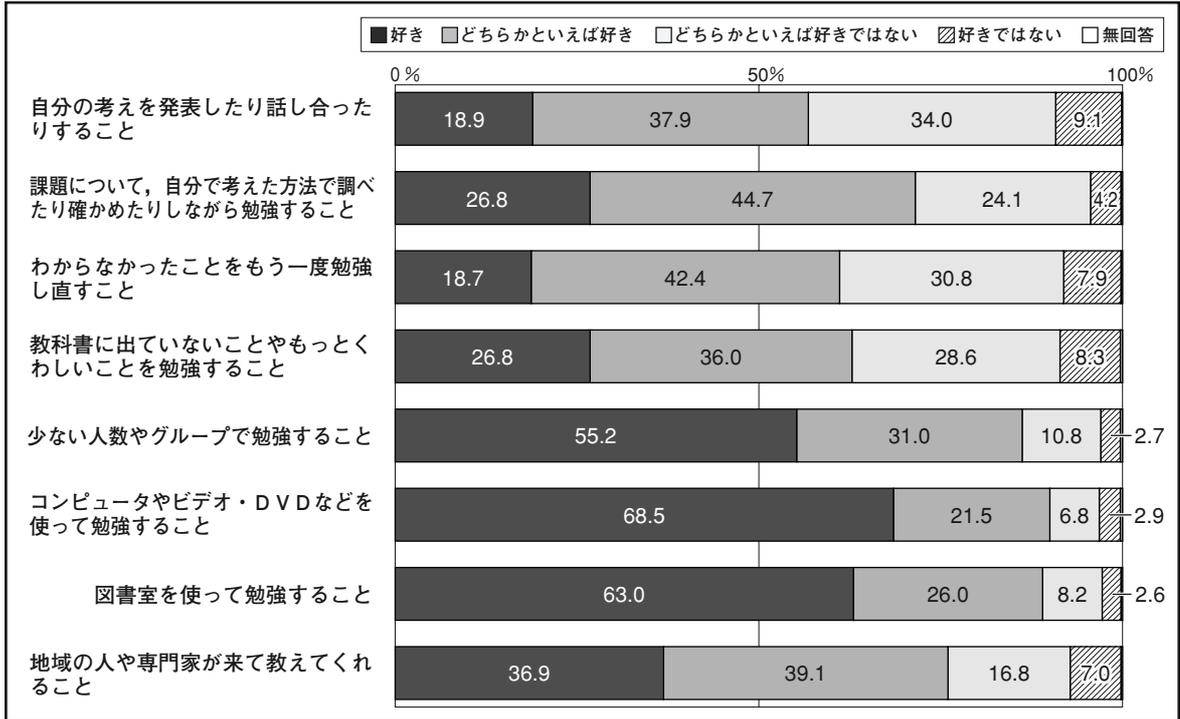


《小学校第6学年》 学校数(児童数)：225校(5,532人)

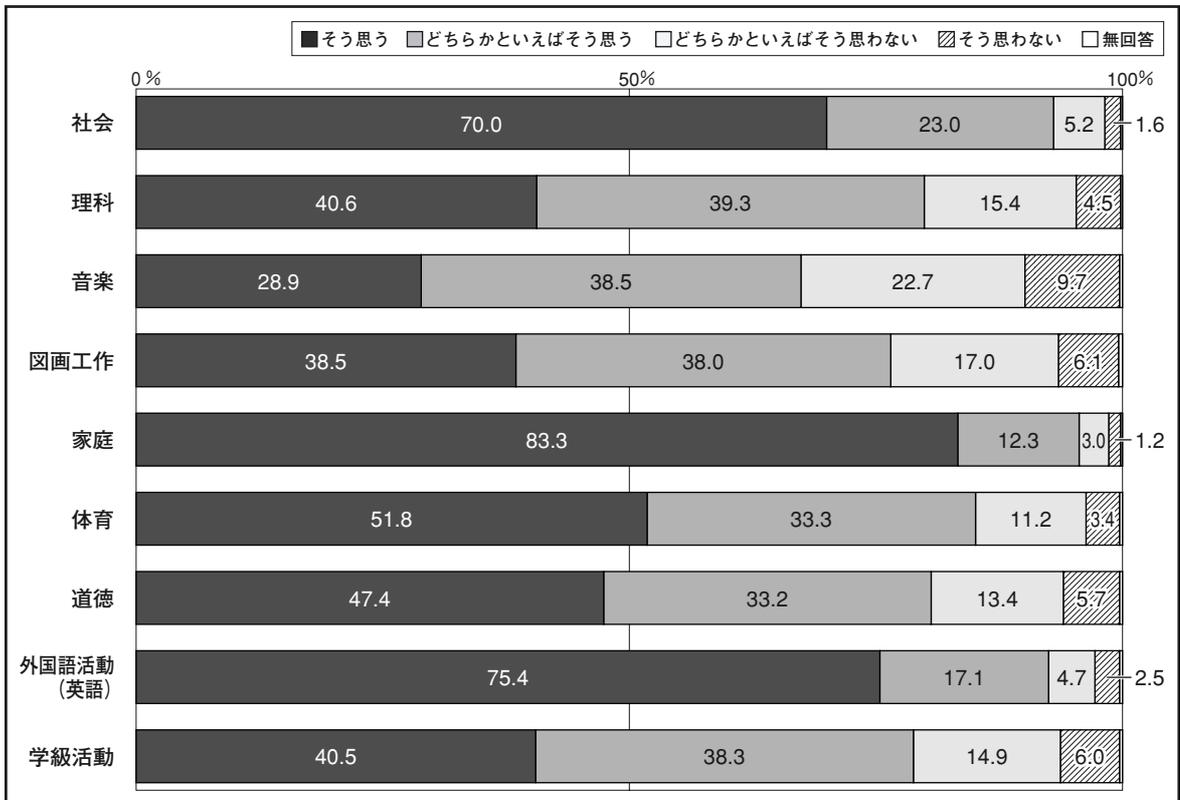
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

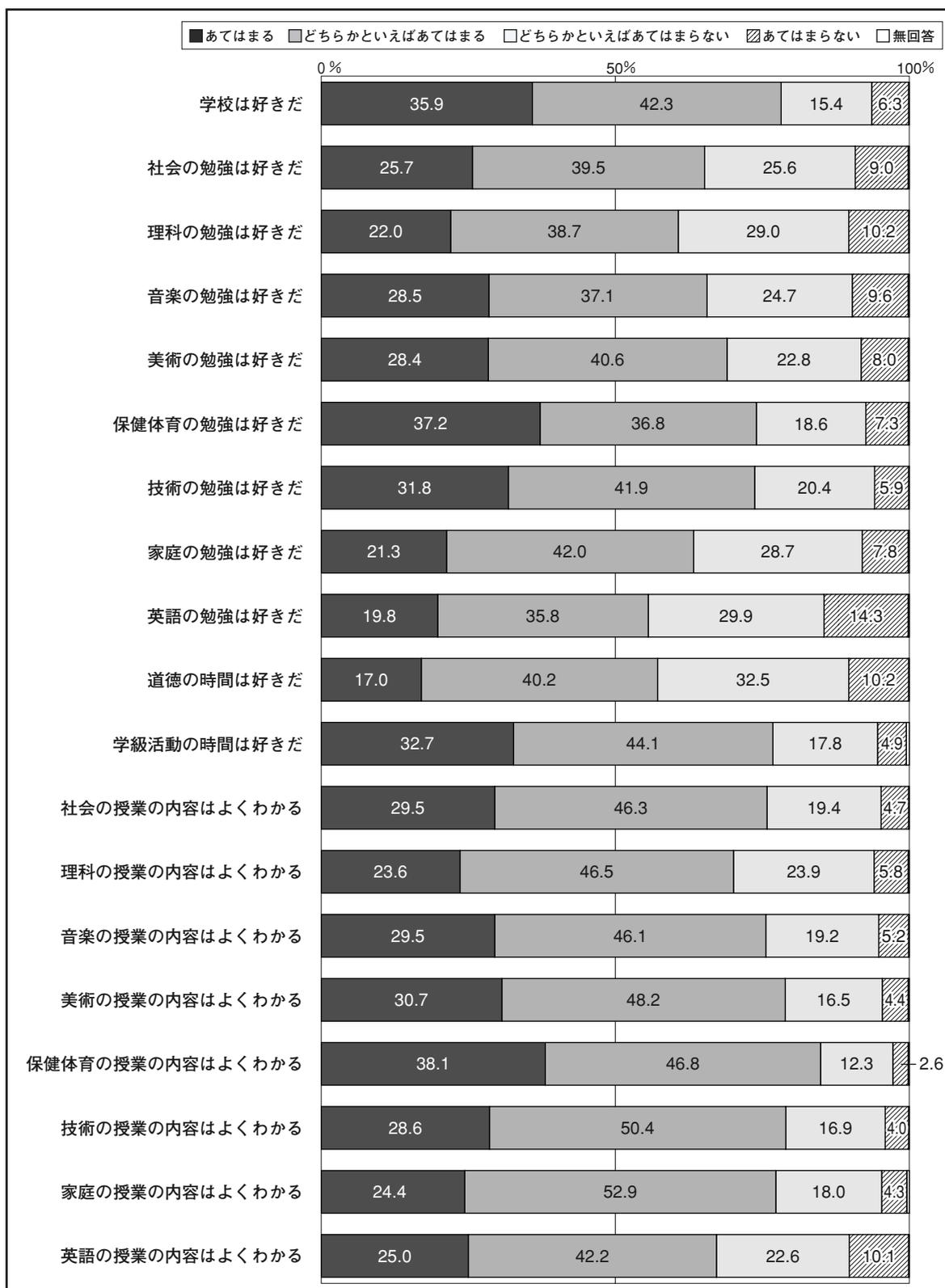


3 あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。

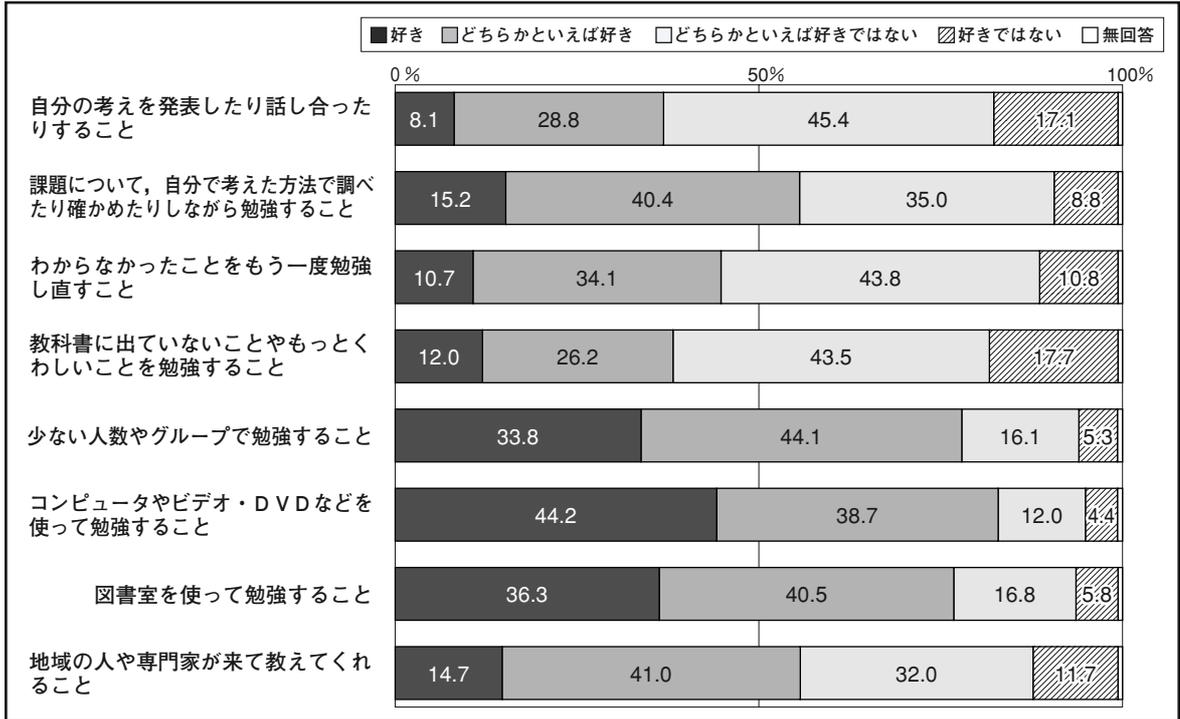


《中学校第3学年》 学校数(生徒数)：94校(2,835人)

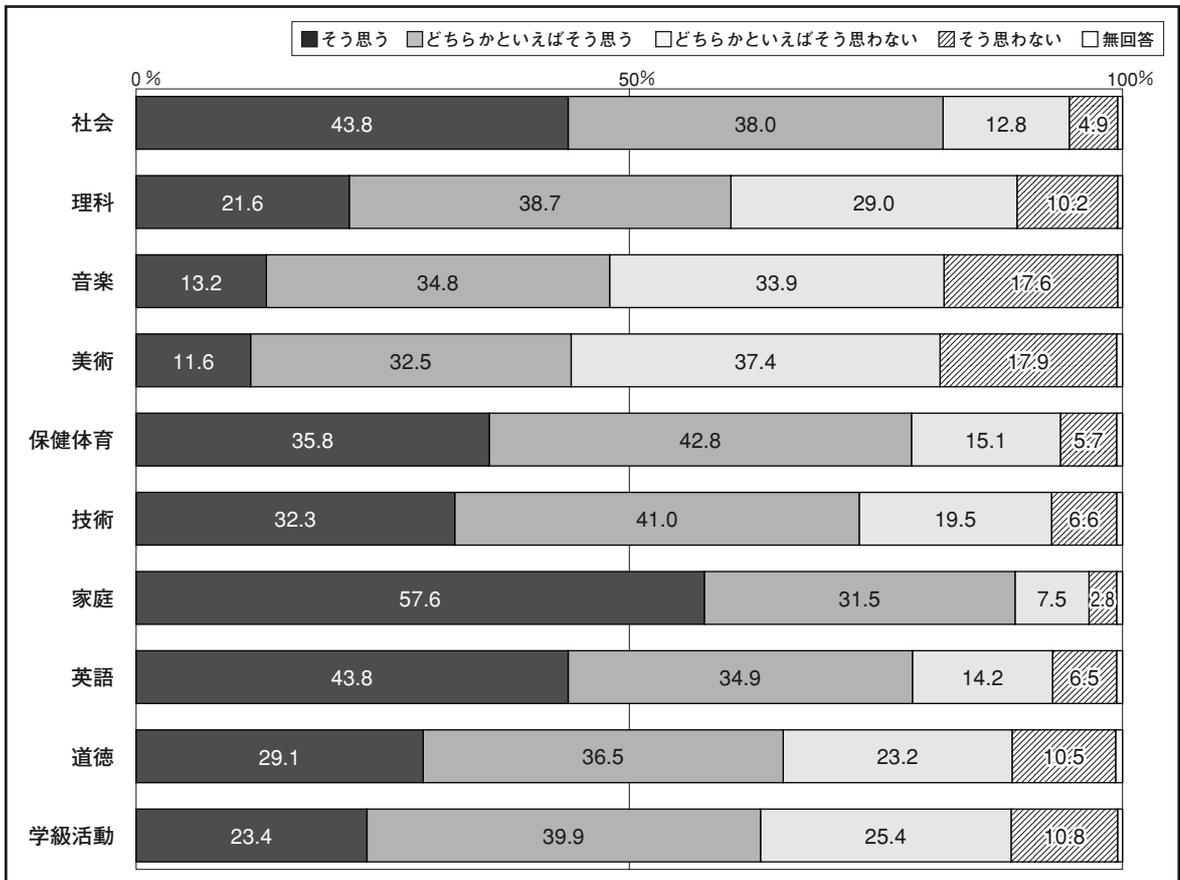
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

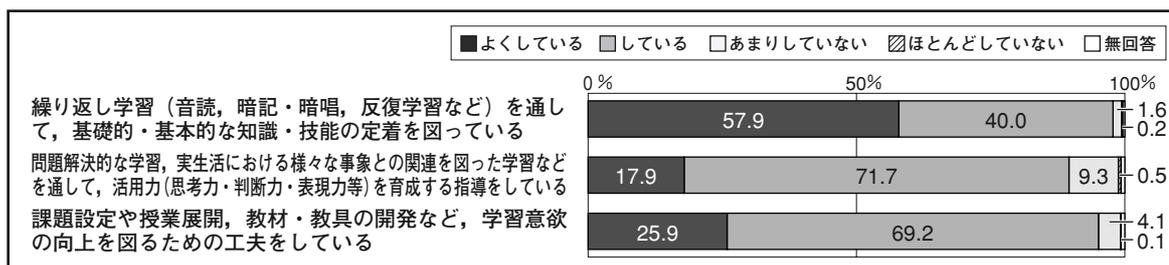


3 あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。



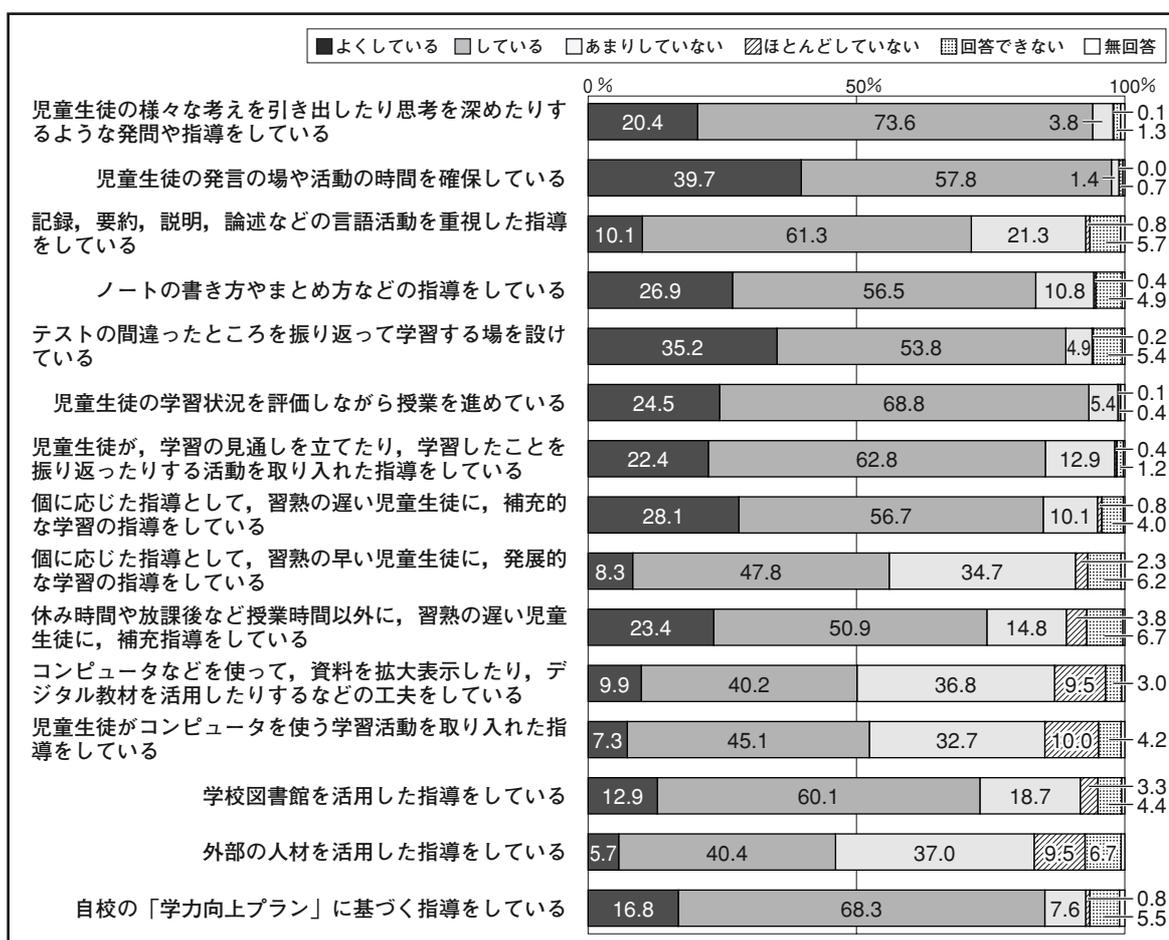
《小学校教員》 抽出校数(教員数)：77校(1,203人)

1 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

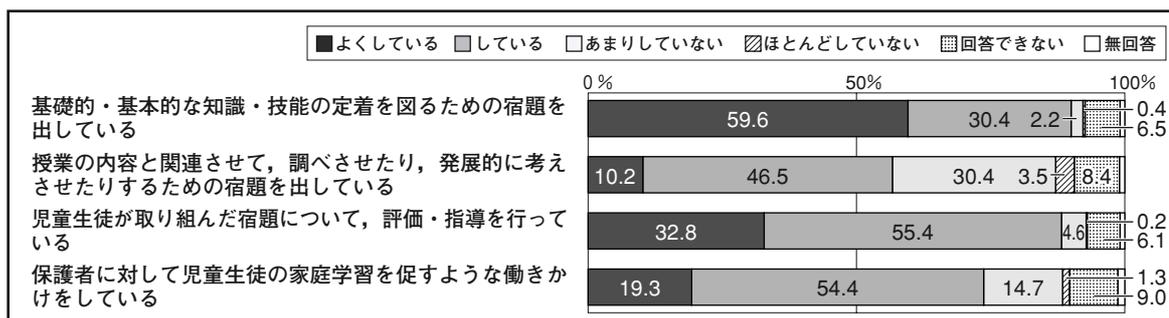


2 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

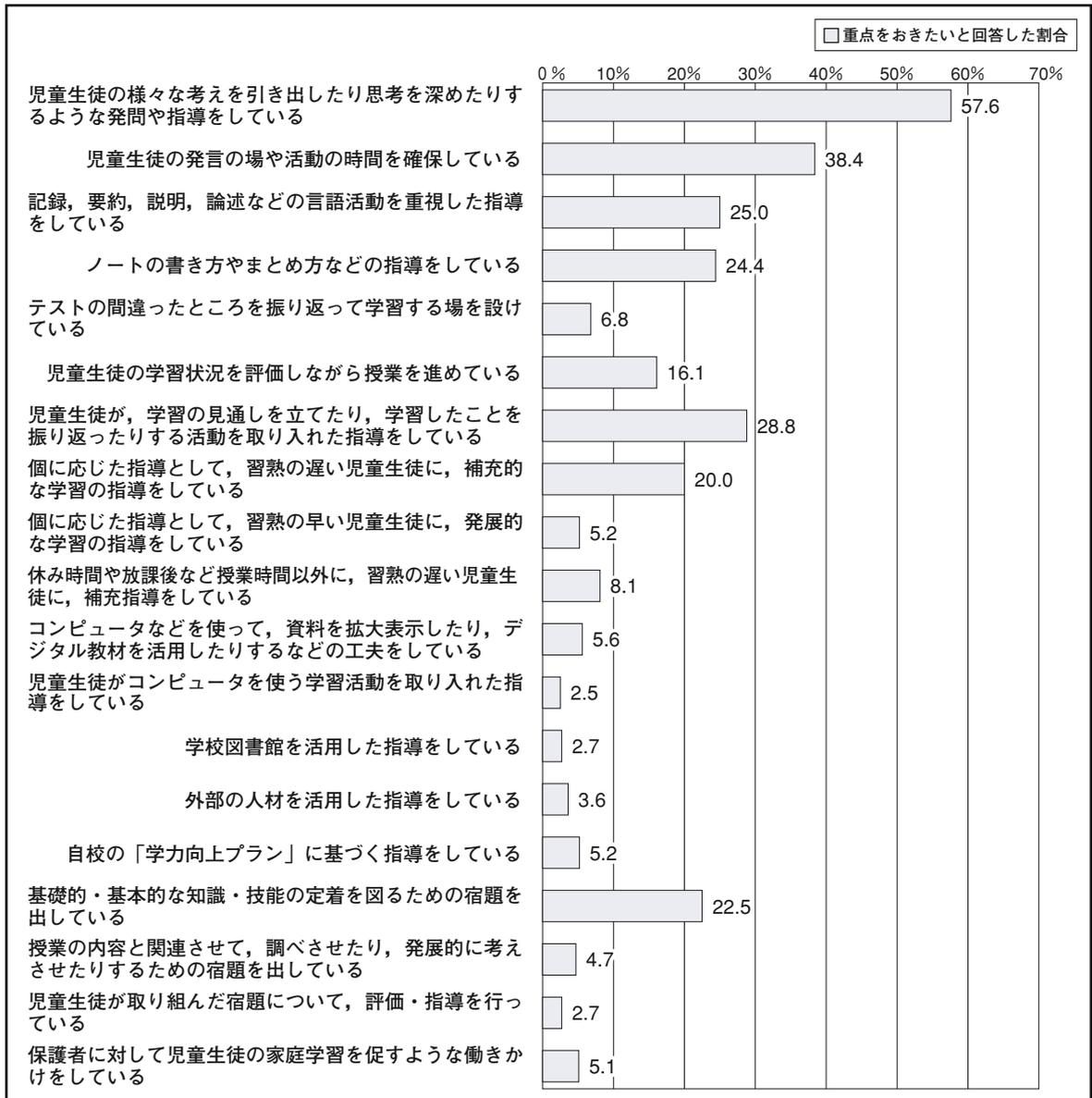
【教科等に関すること】



【家庭学習に関すること】

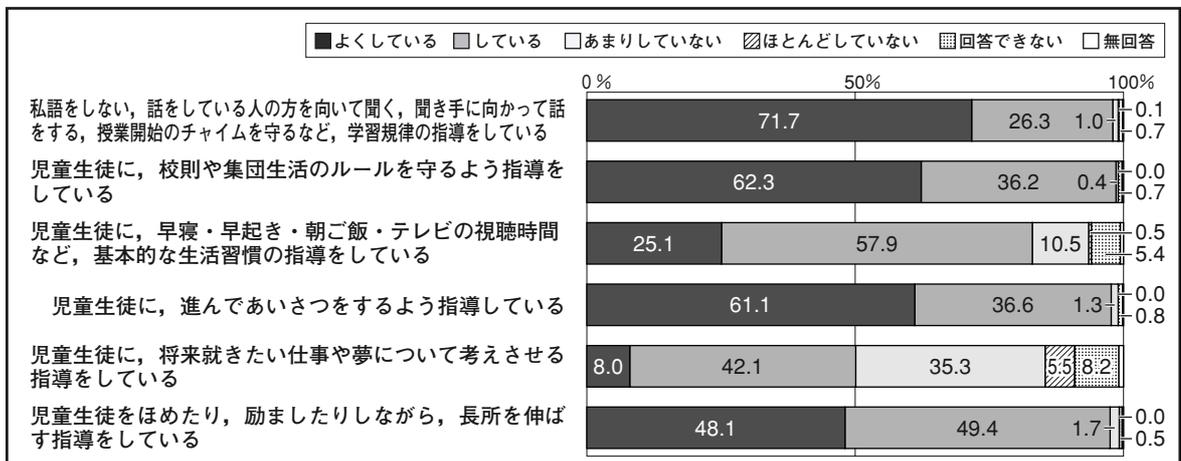


特に重点をおきたいもの（3つ選択）



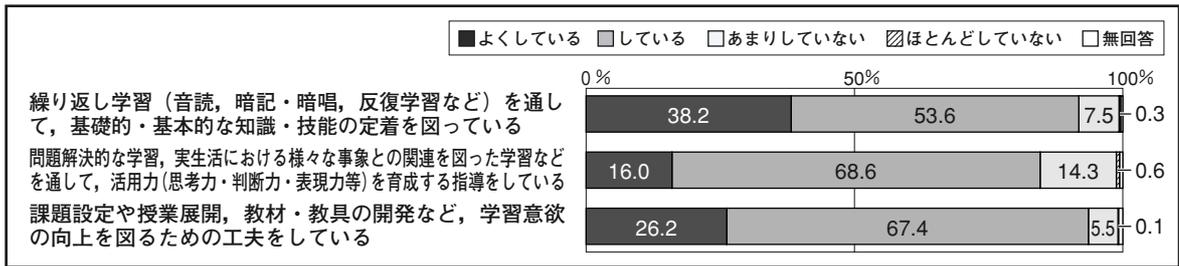
3 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学習規律等に関すること】



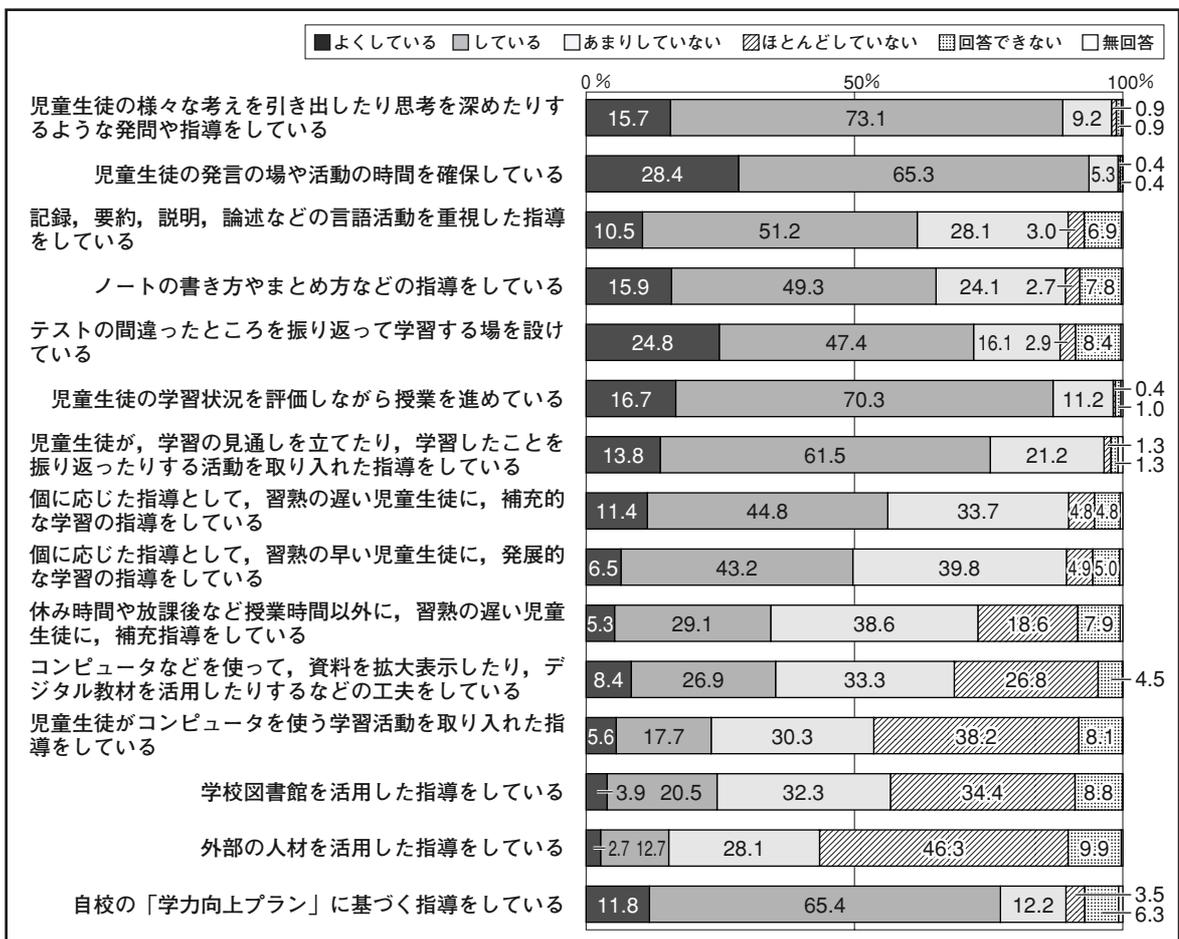
《中学校教員》 抽出校数(教員数)：33校(694人)

1 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

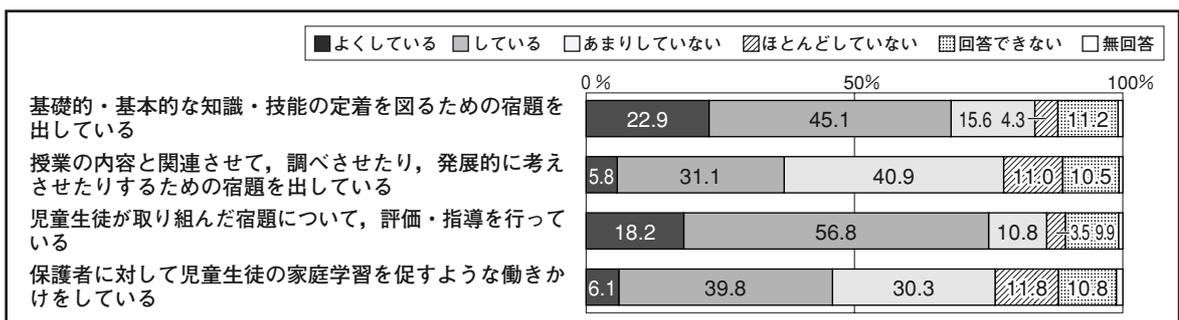


2 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

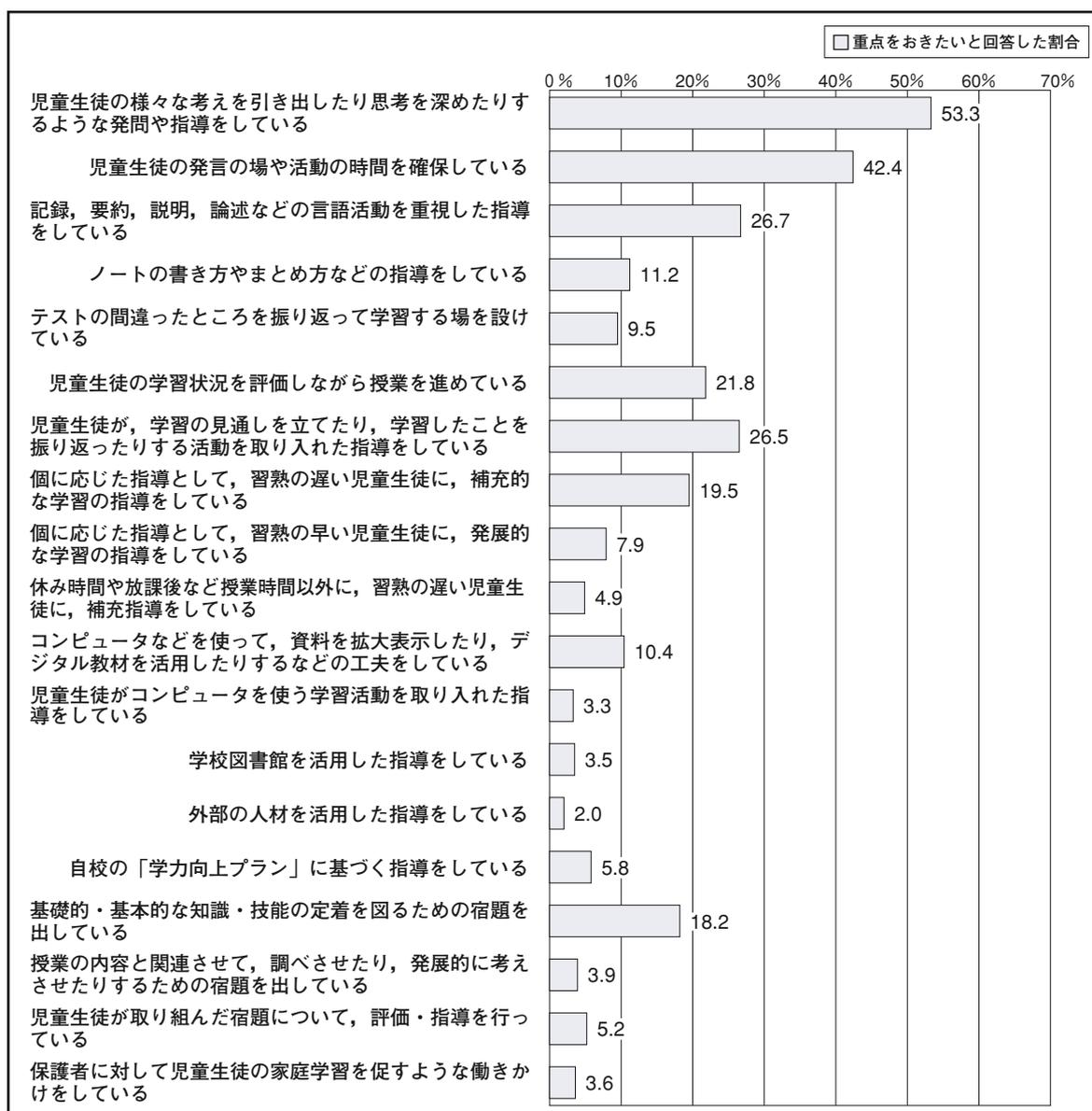
【教科等に関すること】



【家庭学習に関すること】

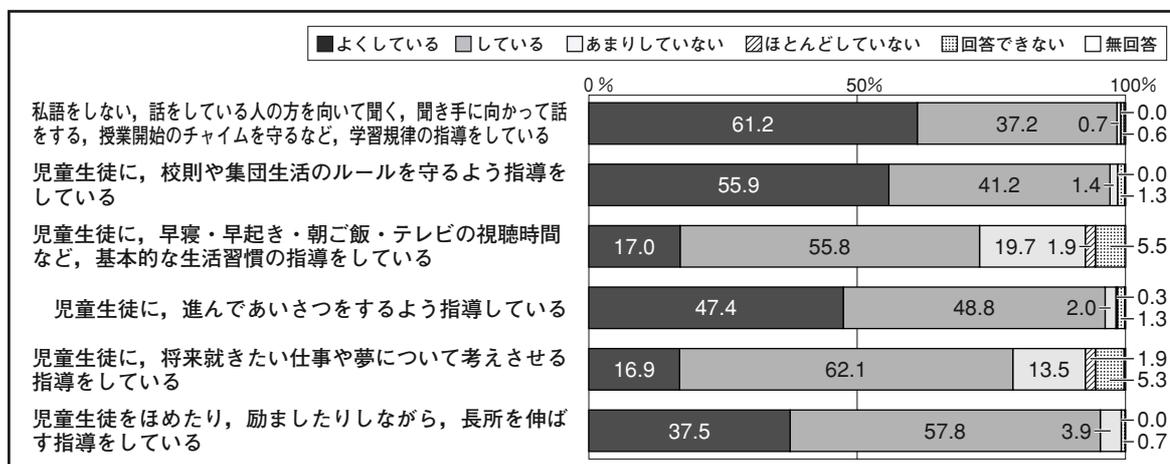


特に重点をおきたいもの（3つ選択）



3 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学習規律等に関すること】



平成22年度

「基礎学力調査」－結果の概要－

平成22年7月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1826

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp